

臨床栄養科クリニカルラダー (Clinical Rudder)

| | 新入職員 (1-2年目) | 初級職員 (3-5年目) | 中堅職員 (6年目以上) | 主任相当 (係長・主任 (経験が浅い)) | 課長補佐相当 (課長補佐・主任 (経験を積んでい | 課長相当 |
|---------|--------------------------------------|-------------------------------------|---|---|-----------------------------------|-------------------------------------|
| レベルの定義 | ○就業経験の無い新人 | ○社会人として周囲に受け入れられる言動ができる | ○同じ分野での業務経験が2-3年となった状態 | ○起こった状況を業務の一部として、認知、理解する。 | ○状況に則した行動ができる | ○状況に則した行動ができ、原則やルール、ガイドラインに過度に依存しない |
| | ○業務に必要な社会人としての一般常識の教育が必要 | ○よくある臨床事例を体得するべく、臨床経験を積んでいる | ○経験則による行動ができる | ○長期的な視野で目標設定できる | ○包括的に物事を理解し、高い意思決定能力がある | ○多くの経験に裏付けられた意思決定 |
| | ○ルールを守ることに始終し、対応に柔軟性が無い | ○経験則による行動が出来るようになり始める | ○問題を意識し、それを一般化し分析することで、業務の効率化を図れる | ○意識的、抽象的 (一般化)、分析的思考を基に行動することで、業務の効率化、組織化できるようになる | ○状況から展開を予測し、柔軟な方針を立てられる | ○臨床状況を直感的に把握する能力がある |
| | ○例:「やることを教えてください。それをします。」 | | | | | ○状況に応じて柔軟な対応ができ、且つ質的にも高度である |
| | | | | | | |
| 目標 | ○社会人としてのマナーを知る | ○社会人としてのマナーを実行できる | ○医療チームのメンバーの責務を担える | ○医療チームの運営を補助できる | ○医療チームを運営できる | |
| | ○医療職としての基本的な知識の修得 | ○医療チームのメンバーとして責任と役割を理解する | ○病態に応じた栄養管理ができる | ○より複雑な病状の栄養管理ができる | ○複雑な病状、社会的背景を持つ患者の栄養管理に対応できる | |
| | ○治療食に該当する主な疾患の治療を経験する | ○自施設にあった医療知識の習得 | ○多彩な社会的状況への対応を経験する | ○患者の状況に応じた栄養管理が出来る | ○情報収集し問題を解決できる | ○目的に合わせた組織作りが出来る |
| | ○上級者に相談しながら業務を行える | ○主な疾患の治療を経験する | ○問題解決に必要な情報収集を経験する | ○問題解決に必要な情報収集の方法が分かる | ○後進の指導ができる | ○業務システムの構築が出来る |
| | | ○経験のある病態については単独で業務を行える | ○院内活動 (委員会など) を通じて人脈形成できる | ○院内での人脈を業務に生かせる | ○院外活動 (栄養士会など) を通じて人脈形成できる | ○地域組織 (栄養士会など) でリーダーシップが取れる |
| 栄養管理 | ○合併症の無い疾患の栄養スクリーニングができる | ○上級者に相談しながら合併症の少ない症例の栄養スクリーニングを経験する | ○上級者に相談すれば、どの症例についても栄養スクリーニングができる | ○病態に応じた栄養スクリーニングができる | | |
| | ○合併症の無い疾患の栄養アセスメントができる | ○上級者に相談しながら合併症の少ない症例の栄養アセスメントを経験する | ○上級者に相談すれば、どの症例についても栄養アセスメントができる | ○病態に応じた栄養アセスメントができる | | |
| | ○合併症の無い疾患であれば、上級者に相談しながら栄養治療計画が立てられる | ○上級者に相談しながら合併症の少ない症例の栄養治療計画を経験する | ○上級者に相談すれば、どの症例についても栄養治療計画が立てられる | ○病態に応じた栄養治療計画が立てられる | | |
| | ○合併症の無い疾患であれば、上級者に相談しながら栄養モニタリングができる | ○上級者に相談しながら合併症の少ない症例のモニタリングを経験する | ○上級者に相談すれば、どの症例についてもモニタリングができる。 | ○病態に応じたモニタリングができる。 | | |
| 栄養指導 | ○合併症の無い生活習慣病の栄養指導ができる | ○上級者に相談しながら合併症の少ない生活習慣病の栄養指導ができる | ○上級者に相談しながら多発合併症のある生活習慣病の栄養指導ができる | ○多発合併症のある生活習慣病の栄養指導ができる | ○状況に応じ、どのような患者にも栄養指導ができる | |
| | ○集団指導のサポートができる | ○上級者に相談しながら合併症の少ない入院患者の栄養指導ができる | ○上級者に相談しながら複合疾患の栄養指導ができる | ○複合疾患の栄養指導ができる | ○栄養指導に対する効果判定と栄養指導方法について後進の指導が出来る | |
| | ○治療食給食開始時の栄養指導ができる | ○指導マニュアルに沿った集団指導ができる | ○集団指導の企画ができる | ○集団指導の企画・運営ができる | | |
| 給食 | ○給食内容を理解できる | ○給食内容を理解し、食事内容の調整が出来る | ○給食システムの問題点を抽出できる | ○給食システムの問題点を抽出し、具体的な改善提案ができる | ○入院患者にあった病院給食の企画・運営ができる | |
| | ○食品衛生に配慮した行動がとれる | ○食品衛生管理を理解できる | ○食品衛生管理の問題点を抽出できる | ○食品衛生管理の問題点を抽出し、具体的な改善提案ができる | | |
| 生涯教育・研究 | ○院内外の研修会、研究会、学会などに積極的に参加する | | ○学会・研究会に目的をもって参加する | | | |
| | ○部署内の研究データの収集を行う | ○部署内の研究データの抽出・集計を行う | ○筆頭演者、筆頭執筆者として研究発表する | | | |
| 専門資格 | ○管理栄養士、研修生 | ○管理栄養士 | ○NST専門療法士、糖尿病療養指導士、病態栄養認定管理栄養士、特定保健指導管理栄養士、摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士、がん病態栄養専門管理栄養士、腎臓病病態栄養専門管理栄養士、糖尿病病態専門管理栄養士、静脈経腸栄養管理栄養士、在宅訪問管理栄養士、臨床栄養認定管理栄養士、NSTコーディネーターなど | | | |
| | ○千葉県糖尿病療養指導士 | | | | | |